

利根川宣言 2000

明治33年に、近代治水事業が利根川に始まって百年目であり、また二十世紀最後の年である今、利根川流域の1都5県の知事が一堂に会して、これまでの百年の歩みを踏まえ、来るべき二十一世紀の利根川の未来像について様々に語り合いました。そこには今後の利根川をめぐる様々な課題、可能性そして夢があります。

内包する課題を解決する延長線上に、無限の可能性や夢を膨らませていく。そのようなことを一步一步進めていくことが、よりよい利根川と住みよい地域を次の世代に着実に引き継ぐことに繋がるものと、強く確信いたしました。

322キロメートルの長さ、1万6千平方キロメートルあまりの流域を持つ、我が国屈指の大河、利根川。一つの川で結ばれたこの地域に住む全ての人々が、様々な視点から利根川と自らの関係を確認し、そしてさらにお互いの関係を認識した上で、利根川を思いやり、心をつなげて、豊かな利根川の自然環境と恵みを未来の世代に受け継いでいくために、次のとおり宣言します。

- 一 「一人ひとりが流域の一員」との考え方のもと、利根川と自らの関係を確認します。そしてこれこそが原点です。
- 二 「流域は一つ」との考えのもと、利根川の流域を構成する様々な地域や立場の人々と自らの関係に思いを馳せ、お互いにそれを認識します。
- 三 「市民」「地域」「行政」それぞれの間で、緊密な連携を様々に展開します。
- 四 こうして培われた利根川との絆を、新たな二十一世紀を担う次の世代に確実にバトンタッチします。